

研究題名	A病院(武蔵野赤十字病院)における計画無痛分娩の実態について
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属:産婦人科病棟 氏名:津田充子(産婦人科病棟助産師)
研究期間	A病院の臨床研究倫理審査委員会の承認後～2023年9月30日
研究の意義・目的	<p><意義></p> <p>近年、無痛分娩を希望する産婦が増えており、厚生労働省の報告では、無痛分娩率は2008年の2.6%から2016年には6.1%に増加している。A病院(武蔵野赤十字病院)においても希望する産婦に対する計画無痛分娩を実施している。しかしながら、A病院(武蔵野赤十字病院)における計画無痛分娩希望者の背景や分娩転帰等の実態については調査されておらず明らかになっていない。今後、さらに無痛分娩希望者が増加することが推測される中で、A病院(武蔵野赤十字病院)の計画無痛分娩希望者の背景や分娩転帰やなどを含めた実態を明らかにすることは無痛分娩を希望する産婦及び児に対してより安心・安全な医療・助産ケアを考え、提供していく上で有意義であると考えた。</p> <p><目的></p> <p>A病院(武蔵野赤十字病院)における計画無痛分娩者の背景や分娩転帰等を含めた実態を調査すること。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>A病院(武蔵野赤十字病院)に保管されている電子カルテから、本研究に必要な項目を抽出し、分析します。</p> <p>研究対象となる方は2021年4月1日～2022年3月31日間にA病院(武蔵野赤十字病院)で、妊娠中より計画無痛分娩を希望され、出産された方(生産児のみ)となります。</p>
<p>① 情報の利用目的及び利用方法(匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法を含む)</p> <p>② 利用し、又は提供する情報の項目</p> <p>③ 利用する者の範囲</p> <p>④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>① 使用するデータは、個人が特定されないように個人情報除外したデータのみを使用します。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、医学・看護系の学会や専門誌などに発表する可能性があります。名前やカルテIDなど個人が特定できるような情報が公表されることはありません。本研究において得た情報は本研究以外では利用いたしません。</p> <p>② 計画無痛分娩の実施の有無と分娩転帰(経膈分娩、帝王切開、吸引分娩、鉗子分娩の有無)、初経産、年齢、非妊時から分娩時までの体重増加量、産婦の非妊時BMI、糖尿病(DM)又は妊娠糖尿病(GDM)合併の有無、高血圧(HT)又は妊娠高血圧症候群(HDP)合併の有無、その他の合併症の有無、計画入院を決めた外来受診時のビショップスコアと週数、入院前最後の外来受診時のビショップスコアと週数、入院日のビショップスコアと週数、誘発開始日のビショップスコアと週数、硬膜外麻酔分娩開始時点のビショップスコアと週数、前期破水の有無、自然陣痛発来の有無、分娩週数、分娩所要時間(第Ⅰ期～第Ⅲ期)、分娩第Ⅰ期・Ⅱ期の各所要時間、出血量、過去の分娩転帰と所要時間(経産婦のみ)、分娩誘発(メロ・ミニメロの使用)の有無、子宮頸管熟化剤(プロペウス)の使用の有無、促進剤使用の有無、児の出生時体重、児の性別</p> <p>③ 津田充子、阿部恵利子、若林笑美、亀井美由貴、織田幸恵</p> <p>④ 津田充子(産婦人科病棟助産師)</p>

問い合わせ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1 武蔵野赤十字病院 産婦人科病棟助産師 氏名 津田充子 TEL 0422-32-3111(代表) 6812(事務局内線) FAX:0422-32-3525
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------